

平成28年度山内図書館の目標

この目標は「横浜市立図書館アクションプラン(第2期)」に基づいて策定しています。
 [目標値]の数値は平成28年度末現在、前年度数値は平成27年度末です。

基本目標: 市民の読書活動を支える地域の情報拠点

重点項目1 市民の読書活動を支える図書館

地域特性に応じた読書活動の推進

具体的取組	指標	目標値
区内の市民利用施設に呼びかけて、読書活動を推進	<1>「あおば読書活動推進の会」会議開催数 <2>貸出施設マップ更新 <3>読書イベントカレンダーの作成	<1>1回(6月)(前年度2回) <2>7月 <3>12回(前年度9回)
地域の読書活動推進のため、区内で行われるイベントチラシ等や、講座等で使用した資料を展示するコーナーを新設	「青葉区読書活動インフォメーション」コーナーの新設	4月
ビブリオバトルの普及	<1>各施設での開催支援 <2>山内図書館でのビブリオバトル開催	<1>3施設 <2>1回

家庭での読書活動の支援

具体的取組	指標	目標値
定例おはなし会、特別おはなし会を実施	<1>定例おはなし会開催数 <2>特別おはなし会開催数	<1>72回(前年度72回) <2>7回(前年度8回)
乳幼児と保護者が本に出会う場所となる乳幼児向け読み聞かせ講座を開催	講座開催数	12回(前年度12回)
子どもの読書のきっかけとなる企画展示を実施	企画展示実施数	2回(前年度2回)
季節やトピックスに対応した展示コーナーの充実	展示実施数	21回(前年度22回)

学校への支援と学校教育への協力

具体的取組	指標	目標値
学校司書をはじめとする教職員からの相談受付および支援	相談・支援件数	80件
図書館見学、職業体験の受け入れ	参加人数	見学 500人 職業体験 30人
教職員向け貸出を実施	貸出件数	120件
教職員、ボランティアを対象とした読み聞かせ・本の修理などの講座を開催	開催回数	15回

地域の読書活動への支援

具体的取組	指標	目標値
団体貸出利用者向けの講座を実施	講座開催数	1回(前年度1回)
地域の親子に向けた読み聞かせ講座に講師を派遣	講師派遣数	1回(前年度1回)

新規登録数増加のために、団体貸出・グループ貸出を周知	<1>メールマガジンPR回数 <2>図書貸出施設へのポスター配布(配布施設数) <3>グループ貸出団体の新規登録数	<1>3回 <2>23施設 <3>2件
----------------------------	---	---------------------------

重点項目2 地域の情報拠点としての図書館

市民の課題解決と読書活動に役立つ資料の収集

具体的取組	指標	目標値
【課題解決機能の強化】 法律の改正や改定に伴う最新情報の提供のため資料の充実を図る。また、医療分野においても新鮮な情報提供のための資料を収集	参考図書の充実	3類 5冊 4類 5冊
	基本書、概説書等の定番図書の購入数	3類 20冊 4類 20冊
【読書に親しむ機会づくり】 永く読み継がれている名著・名作の買替を行い、利用者の知的好奇心を満足させる蔵書を構築	名作・名著の買替数	公開書架 20冊 文庫 30冊
【読書に親しむ機会づくり】 読書活動に関するボランティアの育成・活動に役立つ資料を収集	ボランティア育成・活動に役立つ資料の購入数	30冊
【ティーンズコーナーの充実】 ティーンズ世代の利用率を上げるため、名作文庫の購入に努め、若い世代に読んでほしい資料を充実させる。ティーンズ向けブックリストを作成し、配布	<1>ティーンズコーナーの充実のための資料購入数 <2>ティーンズ向けブックリストの作成・配布	<1>各分類 10冊 文庫 20冊 <2>8月
【非来館者へのPR】 寄贈数増加のために、多くの人が集まる場所で、図書館の寄贈受付を広報	一般書の寄贈受入数	1600冊
	郷土資料の寄贈受入数	一般 450冊 児童 50冊
	外国語資料の寄贈受入数	50冊
	児童書の寄贈受入数	300冊
【児童への調べ学習支援】 3・7類の調べもの学習に役立つ資料を収集	参考図書の購入数 調べもの図書の購入数	参考図書 5冊 図書 25冊
【子ども向け定番書の収集】 科学絵本や昔話の積極的な収集と読み継がれてきた物語の買替補充	絵本の購入数 物語の購入数	絵本 100冊 物語 80冊

資料の保存環境の整備

具体的取組	指標	目標値
正しい情報発信の場として不要な資料を除籍し、書架の新鮮度向上	除籍数	5000冊
資料を長く利用できるよう職員・アルバイトに対して修理の研修実施	修理研修の開催	1回

地域資料の充実と利用を高めるため、地域を紹介するパネル展示と共に資料を紹介。開館40周年に向けて児童の郷土資料を充実させ、「郷土青葉」のコーナーを新設	パネル展示と資料紹介	2回
	児童の郷土資料の受入	30冊
資料の活用と情報発信		
具体的取組	指標	目標値
Facebookを新設してビブリオバトル等の読書活動推進事業を広報	<1>Facebook開設 <2>Facebookからの発信数	<1>4月 <2>12回
区内読書活動拠点のネットワークを用いて、図書館事業を広報	実施回数	5回
ホームページ、ブログ、ツイッター、メールマガジンを使い、それぞれの特徴を活かした情報を発信。ミニ展示など図書館の小さな活動も紹介	発信	随時
市民の学習活動・課題解決の支援		
具体的取組	指標	目標値
大人向けの調べ方講座(検索機・オンラインデータベース)を実施し、利用者のセルフレファレンスをスキルアップ	講座開催数	<1>検索機 4回 <2>オンラインデータベース 1回
学ぶ力を高め、知る楽しさを知ってもらい、図書館の利用を促進するために、小学生のための調べ方講座を実施	講座開催数	1回(前年度1回)
新しい情報を共有し、読書活動を推進するために、平日夜間利用者へ向けた大人のための交流イベント「あざみ野ブックカフェ」を開催	講座開催数	6回
人材育成の推進		
具体的取組	指標	目標値
司書業務全般の技能の向上のため中央図書館、県立図書館等の研修に参加	研修参加数	15回以上
職員スタッフ全員に向けて、休館日を利用した内部研修(接遇、修理、コンプライアンス等)を実施	研修開催数	6回(前年度4回)
定例のミーティングをかかさず実施し、研修の成果や情報を共有	<1>朝礼(全スタッフ対象) <2>職員会議 <3>役職会議 <4>職員・アルバイト代表会議 <5>アルバイト全体ミーティング	<1>通年 <2>毎火曜日 <3>随時 <4>毎月休館日 <5>隔月

重点項目3 誰もが利用しやすい図書館

市民の意見を反映した図書館運営

具体的取組	指標	目標値
利用者フォーラムを開催して、山内図書館への意見や提案を収集	利用者フォーラムの開催数	2回(前年度2回)
来館者を対象としたアンケートを実施して、山内図書館の改善点を把握	利用者満足度調査の実施	1回(前年度1回)
山内図書館独自目標		
具体的取組	指標	目標値
座席の見直し	<1>座席予約システム導入 <2>パソコン利用席見直し <3>新聞雑誌コーナーの座席見直し	<1>7月 <2>7月 <3>7月
山内図書館の運営情報をホームページ上で公開	<1>「事業計画書」 <2>「事業報告書」 <3>「利用者フォーラム議事録」 <4>「利用者満足度調査」 <5>「セルフモニタリング」 <6>「運営評価報告書」	<1>1回(前年度1回) <2>1回(前年度1回) <3>2回(前年度2回) <4>1回(前年度1回) <5>1回(前年度1回) <6>1回(前年度1回)